

# 「第3回 昭和ケア会議」

(昭和未来会議アクションプロジェクト)

平成 29 年 9 月 25 日 13 時 30 分～15 時 30 分

在宅介護支援センターほほえみの里「プラザ昭和」

## ☆本日の「昭和ケア会議」は…

本日の『第3回 昭和ケア会議』の予定です。

- ・「昭和未来会議」と「昭和ケア会議」についてのおさらい
- ・「昭和地区の情報共有」(『認知笑劇団』『昭和☆まもリンピック』『地域資源』等)
- ・「昭和地区のガイドブック・地域資源情報検討」
- ・「これからの『昭和ケア会議』について」(これまでの意見をもとに検討)

## 1. 『昭和未来会議』と『昭和ケア会議』について

繰り返しになりますが、最初に「昭和ケア会議」の位置づけをおさらいします

「昭和ケア会議」は「昭和未来会議」のアクションプロジェクトの一つとして始動しました。

- ▶平成 28 年 6 月「昭和未来会議」スタート（毎月 1 回開催）。多様な考え方や意見があげられたが、その中から「みんなの理想の未来」が 2 つにまとめられた。

### <2 つの「みんなの理想の未来」>

- ▶①「みんなが安心して暮らせる昭和に」
- ▶②「若者が活躍できる魅力的な昭和に」

- ▶この、みんなの理想の未来に向けて「やってみたいこと」のアイデア出しを実施。様々なアイデアが上がり、意見が多かった 3 つの項目を中心にグループが分けられた。

### <3 つの「昭和未来会議アクションプロジェクト」>

- ▶①「イベントグループ」
- ▶②「日常の交流の場グループ」
- ▶③「支援が必要な人のためにできることグループ」

- ▶アイデアの実現に向けた話し合いを続ける中で、課題が見えてきた。

- ▶①「毎回のメンバーが固定されず、月一回の開催なのでなかなか話が進まない」
  - ▶②「関わる人々がワクワクしないと続かない」
  - ▶③「新しい取組だけではなく、既存の活動の充実も大切」
- ⇒①②に対応して、「3 つの個別アクションプロジェクト※」始動
- ⇒③に対応して「地域資源リスト」を作成、関係者で磨き上げ、幅広く共有

※アクションプロジェクトの内容

- ①イベントグループ ⇒ 「昭和つながりリングプロジェクト」と命名し、ミーティングを定期開催。「昭和☆まもりんピック (10/7.8)」の開催決定！協力者募集中！
- ②日常の交流の場グループ ⇒ 多文化交流「畑」の検討、視察や試食等を開始！
- ③支援が必要な方に対してできることグループ ⇒ 「昭和ケア会議」スタート！

- ▶母体となる「昭和未来会議」のこれから

- ▶3 つのアクションプロジェクトのスタートを機に、毎月ではなく開催間隔を広げて実施することに。
- ▶昭和の未来を共有する情報交換の場（3 つのアクショングループの活動状況の報告・協力依頼をはじめ、昭和の未来に向けた様々な情報、方向性の共有を行う）
- ▶未来に向けたテーマトークの時間を設け、新しい仲間を増やす。

※別紙「平成 28 年度『昭和未来会議』のおさらい（平成 29 年 7 月 2 日 第 11 回昭和未来会議資料）」参照

## 2. これからの『昭和ケア会議』について

<今後検討したい内容（案）>

これからの「昭和ケア会議」の進め方（案）

1. 昭和の旬の情報共有（認知笑劇団、昭和☆まもリンピックの報告等）【10分程度】
2. 「一人一言トーク」（最近嬉しかったこと、良かったこと等、皆さんが聞いて嬉しい内容を『一言』ずつ）【10分程度】※参加者の皆さんのアイスブレイクとして実施
3. **本日の昭和ケア会議**（事前にテーマを決めて開催、時には関連するゲストも登場）【50分】

⇒この会議のメインです！

話合いを濃密なものにするため、毎回テーマを決めて開催します

地域で頑張る皆さん、専門職のみなさん、行政それぞれの経験や知見を持ち寄り、学びや気づきを得る場とします。具体的なアクションにつながる場合があれば、実行メンバーを、皆で支援します。（例「認知笑劇団」）

4. おさらい、次回テーマ決定【10分】

⇒結果は昭和未来会議やHPでも毎回報告し、地域の皆さんに広げていきます！

さて、皆さんの関心毎は何ですか？！皆さんで意見を出し合いましょう！

（今回の話し合いが、次回以降の昭和ケア会議のテーマになります）

**議題案1. 誰もが不安な「認知症対策」。まず、できる事から始めましょう！**

- ・もしかして認知症かも！徘徊者発見！そんな時どうしますか？（ケーススタディ）
- ・家族対策の困りごととや解決策の事例共有
- ・昭和版認知症サポーター講座 等々

**議題案2. 若者を巻き込むアイデアを考えよう！**

**議題案3. 昭和の「サロン」の明るい未来について考えよう！**

**議題案4. 災害時に心配なことと対処法、今から備えられること**

**その他…「昭和ケア会議」参加メンバー発案のアクションがあれば随時検討していきましょう！**

…これまでの、「昭和ケア会議」の意見も参考にしていきたいと思います！

## 参考.「昭和ケア会議」これまでの主な意見

### (1)「第1回 昭和ケア会議」(平成29年7月24日開催)

#### ●全般

- ・高齢化が著しい。支援者単独ではケアしきれない。認知症で一人暮らしの方もいる。
- ・昭和地区は様々な土地から集まってきた方が多く、地域の繋がりが薄い。昭和未来会議や昭和ケア会議といった機会は有効。

#### ●民生委員

- ・自分が支援を受ける側になった際にも、こういう場で学んだことが生きると思う。
- ・民生委員として決められたことがあるので、それは対応できるが、震災等いざという時に何ができるか不安がある。こういった機会学びたい。
- ・民生委員に相談しやすくわかりやすくなるようになれば良い。玄関に「旗」をたてては？

#### ●若者の参画

- ・活動の担い手として、若者の参加が必要。
- ・若者と交流する機会が設けられれば(⇒昭和まもりんピックや昭和未来会議でも対応)。

#### ●その他

※この他、各地区、各分野の取り組みや課題等について情報交換が行われました。個別の内容は地域資源の情報整理の際に反映していきます。

※各高齢者サロンの取り組みの情報交換も行われました。

※昭和未来会議出席者から未来会議のおさらいや会議にかける想いについてお話もありました。

※商店街の今後、URとの協定、中電のみまもーるの情報交換などもおこわれました

### (2) 昭和ケア会議 番外編「サロンに参加して高齢者の声を直接聞いてみよう！」

(平成29年8月14日開催 ※「心の里」知立団地第2集会場、サロンの参加者さんと一緒に昼食を食べながら交流)

<サロン参加者の感想や関連する意見>

#### ●良い機会、場所にする

- ・楽しそうにやっていたらしゃった
- ・やる人が楽しくやっていないと来たくない
- ・思いがけない方にあたり、いろいろなことが行ってみるとある
- ・直接人と会って話すことは大事(民生員の訪問でも会ってお話すると喜ばれることが多い)

#### ●サロンでの工夫等

- ・スマホの操作などの会話をした(花の写真、家族の写真など)
- ・若い人がたくさん来てくださって嬉しいと言っていた  
→高齢者の方だけでなく、お話に来るだけでも意義がある 参加者増やせれば
- ・サロンの案内を訪問の時に配れば
- ・全然知らない方ともお話ができるような席の工夫をしてはどうか
- ・健康チェックをサロンでやっている(サロン北昭和)

- ・サロンでマージャンをやっている。女性の参加者が多い（サロン北昭和）
- ・気になる人がいるとチェックしている
- ・外に出てきていただければ（話をするような場）

●課題等

- ・うちにいて、散歩をほとんどしないという方がいた
- ・施設に入所する、親しい家族を預けるのが、どれだけの決心があるかということを経営者がもっと認識すべきと感じた
- ・帰してくれない人 1時間ぐらい お話をたくさんして下さる人が多い
- ・近所づきあい 交流がない

**(3)「第2回 昭和ケア会議」**（平成 29 年 8 月 28 日開催）

●認知症

- ・認知症のこと自体を学んでおかないといけない→勉強会をやったらどうか
- ・認知症カフェに行ってみよう！→当事者の声を聴く機会にしたらどうか→交流会
- ・民生委員高齢者部会。1年目認知症とはから始めた 2年目認知症ケアを勉強のテーマに
- ・認知症が進行していると思われる人がいらっしやる ずっと歩き回っている
- ・ご家族の方に連絡したら 見に行ったときは元気でしたと言われた
- ・認知症にならないようにすることが大切→自治会事務所になるべく詰めるようにしている  
→ごみが出せない、扇風機の切り替えができないなどの連絡が増えた。なるべく見るようにしている。
- ・自治会で朝6時からパトロールを始めた 季節によっては昼、夕方
- ・5階のカーテンが揺れてると知らされた ミ行のようになってしまっていた、、
- ・認知症になる前に自分自身で考えることが大事だと思うが、、
- ・認知笑劇団 →座長やるかたも募集

●健康

- ・歌声喫茶を始めた
- ・自治会健康体操をやっている→10年近くやっている
- ・自治会の健康体操は血圧等も測ったりする
- ・呼びかけ、伝わるようなポスターを
- ・集会所を開放して、診療所の先生等をよび、健康診断もする等の取組みをみんなに呼びかけてはどうか

●情報

- ・知立団地外周の牛田町の住民にとっては、昭和の情報が全然ない
- ・高齢者に特化せず町全体として 資源リスト、ガイドブックのようなものを作れば

●民生委員、見守り等

- ・話をしても外に出てきてくれない人に対してどうすればいいか
- ・信頼していただける まで時間がかかる
- ・日本人の子育て世帯が少ない 外国籍の方はなかなか会えない、言葉が通じないので何度でも通う必要がある
- ・近い人同士のコミュニケーションが必要だと思うが、人間関係が気になる
- ・みんなで見守りができるような取組を作っていたらどうか（個人情報に差し障りない範で）

●交流、催し

- ・歩いて行ける場所で集まれる場所が増えるといい（元気なうちは自転車等があるが）

- ・自宅でサロンをやっている人もいる
  - ・昭和5丁目 シーンとしている
  - ・自治会秋祭り、文化祭
  - ・敬老の日 赤飯を配る 400 食ぐらい 増えてきてる→歌声喫茶と合わせてやっていきたい  
引きこもりを減らすため
  - ・男の人の参加が少ないので、、→赤ちょうちん！
  - ・ラジオ体操、祭りもうるさいと言って苦情がくる時代
  - ・サロンでもやれたらと思うが、、人間関係が、、
  - ・チラシを配ったらという話があったが、10年間各階段にチラシを貼ったり、事業所にも置かせてもらった。
  - ・各階段に貼っていくのは大変 マルスは設置は断られた
- その他
- ・災害時のことをシミュレーションする劇
  - ・昭和とうまくつきあっていきたい
  - ・南医療生協知立支部 太田さん
- 昭和未来会議で語られていることと同じことを目指していると思っている
- 健康チェック、検診等で健康を維持していきながら、「おたがいさま運動」に取り組んでいる
- ・「おたがいさま運動」→困っていることをどこに言ったらいいかわからない。言いにくいという人が気軽にお互い様で助け合える取り組みが作れば